日（平成26年）1月27日号
0.2616　（毎週月曜日発行）
式会社　週刊住宅新聞社
60-0022　東京都新宿区新宿1-9-4　中公ビル
)5810　FAX 03(5363)5815　郵便振替口座 00120-5-83424
長兼　消印　昭和35年5月10日　第三種郵便物認可
//www.shukan-jutaku.com/

週刊住宅

CFネッツ流大家実践塾 96

不動産業界のためのインターンシップ制度

実践的な知識、行動力を学ぶ

人材育成で業界発展へ

シー・エフ・ネッツは、不動産投資理論と実務を実践的に学ぶことができる「インターンシップ制度」を来年度も行うことを決定した。

今年度も1年を通し東京大学の学生など将来不動産関連企業を目指す数多くの若者がシー・エフ・ネッツのインターンシップ制度を活用した。

この制度を活用した学生は、就職活動を優位に進められるといった直接的な学生のメリットだけでなく、将来不動産業界を担う逸材になると期待している。

なぜシー・エフ・ネッツが、インターンシップ制度を行うのか？

その理由は簡単である。不動産業界全体の質の向上や発展に貢献するためである。

そのためにまず業界にとって必要な、即戦力で実行力のある人物を育てることを1番の目的としている。

このインターンシップは、なにより即戦力育成を目的としている。そのため、かなり実務に近い実践的なプログラム構成としていることが特徴である。

プログラムは、社会人として必要なビジネスマナー、接客対応、などの基礎研修をOJTとOFF－JTの同時訓練で学ぶことで「行動力」を身につける。同時並行で当社のコンサルタントでありCCIM（米国認定不動産投資顧問）やCPM（米国認定不動産経営管理士）の有資格者、現役のCPMファカルティ（講師）が講師となって、不動産投資論や金融工学、建築学、ライフプランニングなどの、特に不動産投資業界に必要な知識を学び「知識」を習得する。

また、特別講義として「お金に困らない人生設計」など数多くの著作を持つ当社代表の倉橋隆行や「投資にまつわる100の話」の著者である当社GM猪俣淳の講義などから「考え方」を学ぶ構成となっている。

そのほかにも、当社主催の宅建勉強会などにも参加が可能になる。

宅建資格取得は不動産業界で働くためには最低限の資格である。即戦力としての人材であれば、学生のうちに取得することが望ましいと当社では考えているからである。

インターンシップ制度は学生にとって、とても有意義な制度であるのではないかと自負している。

大事な学生時代の時間を有効に使うことにより将来は大きく変わってくる。私も実感したことがある。

「知識」だけでは社会では評価されない。社会人には「知識」を「成果」に結びつける「行動力」が必要なのだ。

そのために、このシー・エフ・ネッツのインターンシップ制度を活用してもらいたい。学生のうちから本当の「出来る」力を身に付けるチャンスがこの制度には必ずあるからだ。

（CFネッツ経営企画室長　大貫一生）

CPM～米国公認不動産経営管理士～・公認不動産コンサルティングマスター・2級建築士・宅地建物取引主任者・フードアナリスト2級、他多数保有）